

三の丸

平成25年11月21日

小田原市立三の丸小学校

学校教育目標

自然や地域・社会と共に 学び合い高め合う 心豊かで健やかな子

《いのちの授業》



10月30日の朝会で、「大切なものは、いのち」という話をしました。

ご存知のように、三の丸小学校開校時に新たに作られた校歌の出だしの歌詞です。朝会の15分という短い時間ではありましたが、校歌に込められた思いを考えました。

絵本『いのちのまつり』も見せながら、命が受け継がれていることを確認しました。

自分の命が生まれるためには、父母の2つの命が必要であったこと。そして、その前の代である祖父母4人の命が必要であったこと。そのように振り返り、40代前（約1000

年前）には、1兆人を超える先祖の命が必要なのです。

そして、自分の心臓の鼓動でいのちを感じてもらった後、三の丸小学校には、2つの心臓を持つ先生がいることを話しました。初めは驚いていた子どもたちも、妊娠されている廣瀬先生のことだと分かるとすぐに納得していました。廣瀬先生からは、お腹の中の赤ちゃんの4D映像を見せてもらいながら、「産まれてくることは、当たり前ではない。」「ここにいることが奇跡である。」「その命を大切にしてください。」と教えてもらいました。

教室に戻った後で、5年生が書いた作文を紹介します。

☆ 今日の朝会話を聞いて心に残ったのは、「命の大切さ」です。廣瀬先生の話聞いて、今ここに自分がいるのは、「キセキ」なんだと思ったからです。おなかに赤ちゃんができて、残念ながら産まれてこない場合だってたくさんあるのに、自分は無事産まれてくることのできたのは「キセキ」だからです。だからこそ命を大切にしなければいけないんだとあらためて思いました。

《音楽鑑賞会》

芸術鑑賞会は、三の丸わくわくフェスタの収益金により開催されています。今年は、ディズニーランドで活躍されているディキシー・ウィンドの演奏を聞きました。ディズニーメドレーで始まり、楽器体験・校歌の全員合唱など盛りだくさんの内容に、アリーナはたくさんの笑顔で一杯になりました。



《体育大会》

雨のため1週間
順延されましたが、大
変によい天候に恵ま
れました。6年生は、
競技や応援で素晴ら
しい姿を見せてくれ
ました。9月から毎週
行われた朝練には、ボ
ランティアの方にも
参加していただきました。走り方や跳び方
の指導をしてくださ
ったり、ボール拾いを
してくださったり、校
舎を周回する児童の
安全を確保してくださったりとご協力いただきました。

おかげさまで、たくさんの成果を得ることができました。



《素敵な歌声が響いた音楽 会》

11月7日に小田原市内の
小学校25校が午前と午後に分
かれ、小田原市小学校音楽
会を開きました。小田原市内
の小学校代表の5年生(4年
生または4・5年生の学校も
ありますが、市民会館で合唱
や合奏を披露しました。
本校の5年生は「ひとつぶの
いのち」を歌いました。「緊張
して足が震えた」「集中して歌
えた」など、感想はさまざま
ですが、2ヶ月間の練習の成
果を十分に発揮できました。



《校長室より》

☆ 雨で順延となったわくわくハイクは、明日22日に実施されます。

9月に入り、3年生以上の学年から選ばれた実行委員が計画を立ててきました。

後期初日の10月15日には、6年生全員で、仲良し班毎に決めた目的地の下見に行ってきました。子どもたちが、自分と仲間の思いの実現のために、一生懸命に取り組んできました。明日の予報は、晴れです。とても楽しみです。

当日の様子は、12月号で詳しくお伝えします。